



世界的なゴリラ研究者
アイアン・フォッシー（1932〜85年）との出会いが
人生の転機でした。彼女が
僕をゴリラと出会わせてく
れ、その後の生き方を養え
てくれた。

僕はコンゴ（旧ザイール）
のカブジ山で70年代後半に
最初の調査を始めました
が、そこではなかなかゴリ
ラに近づけなかった。数年
後、ダイアンのいるルワン
ダのフィールドに入らせて
もらって、やっと研究がで
きるようになった。

彼女は、世界で初めて野
生のゴリラが自分から触り
にきたというパイオニア。
現地で直接の指導を受けた
わけではないけれど、ゴリ
ラがやっていることを逐一
まねて、共鳴していくこと
で、彼らを安心させるとい
う調査の方法を一生懸命教
えてくれた。ダイアンのお
かげで、僕はゴリラの世界

世界的ゴリラ研究者の死に学ぶ

総合地球環境学研究所長

山極寿一



「言葉は利害関係を確認す
るのに有効なツールだけれ
ども、信頼はつくり出せな
いと話す山極寿一さん

地域住民ら巻き込み活動

を知ることができた。
一方で、彼女のネガティ
ブな側面からも大きな影響
を受けました。ダイアンは
85年に何者かに襲われ、殺
害された。犯人は今も分か
っていませんが、ゴリラの
密猟者を拷問まがいの事を
して痛めつけたり、現地ス
タッフを調査に巻きさせな
いようにしていたりと、地
域の人々から恨みを買って
いた可能性はあった。

そのことから学んだの

は、現地の研究者を育て、
地域住民にゴリラの価値を
分かってもらい、彼らと一
緒に活動をしないと駄目だ
ということでした。
僕はその後、それを実践
した。カブジ山に戻って、
地域の人々と「ホレホレ基
金」という団体を立ち上げ
てゴリラの保全活動に取り
組み、所属していた京都大
に現地の研究者を呼んで、
博士号を取らせました。
それは、ニホンザルの研

究をしていた鹿児島県の屋
久島で地域の若者らと立ち
上げた「あこぎ塾」とい
う現地の自然と文化を守る
活動にもつながっていま
す。その後、アメリカでの
取り組みは世界的に評価さ
れ、屋久島での試みも世界
自然遺産登録という成果に
結実しました。
今振り返ると、ダイアン
の死から学んだ事をアフリ
カや屋久島で実践し、それ
らが相互に関連し合いなが

ら進んできたのが僕の人生
だった。2021年から総
合地球環境学研究所（京都
市）の所長に就任して取り
組んでいる「超学際研究」
でも、学問分野を超える学際
だけでなく、地域社会など
も巻き込んだ研究を推進す
る点で、これまでの活動で
得た経験が生かされていま
す。
ゴリラの研究を始めて40
年以上。彼らの生態を知る
中で「人間とは何か」とい

う問いへの答えがだんだ
ん分かってきました。私た
ちの本質は言語ではなく、
身体を共鳴させ、相互に共
感し合い、信頼関係をつく
ることにある。その発端が、
言葉を持たないゴリラやチ
ンパンジーらの社会にあ
る。それが今の僕の確信め
いた気持ちです。また、また
調べなければいけないこと
はたくさんあるけどね。

やまきわ、じゅいち 19
52年東京都生まれ。国際鑑
長類学会会長、京都大学長、
日本学術会議会長などを歴
任。著書に「ゴリラ」「狂感
革命」など。

上の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 世界的なゴリラ研究者ダイアン・フォッシーが筆者に教えてくれた調査方法はど
んな方法でしたか。本文中から45字以内で抜き出し、最初と最後の3文字を書きま
しょう。

2 ダイアンが殺害されたネガティブな側面（よくない部分）から学んだ筆者は、どん
なことをしましたか。次の説明文の空欄に、本文中から適切な語句を抜き出して入
れましょう。

ダイアンはゴリラの密猟者を痛めつけたり、現地スタッフを調査に参加させな
かったりしたが、筆者は地域住民に（A）を分かってもらうため（B）という団体
を作り、ゴリラの保全活動を行った。また、現地の研究者を（C）に呼んで（D）を
取らせた。

A	B
C	D

NIEワークシートのこたえ（2024年4月16日公開）

◆ワークシート「ゴリラ研究者の死に学ぶ(国語)」 2024.4.13付 夕刊 3ページ 解答

1 ゴリラ ～ の方法

2 A ゴリラの価値 B ポレポレ基金

C 京都大 D 博士号